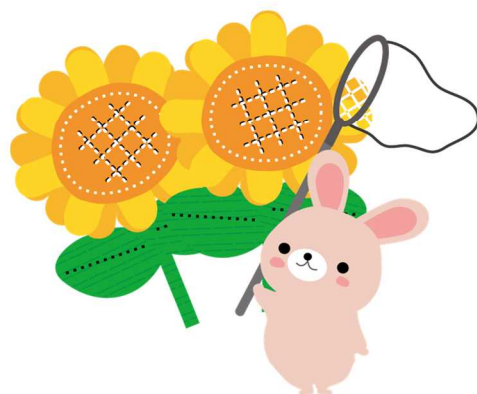


図書部発行

# ミモピア

No.216+217 合併号



中村学園女子中学校・高等学校 図書館情報

【目次】 新任の先生方の紹介……P2

テーマ「夏の過ごし方」……P4

読書のすすめ ハイダー先生……P6

# 新しい先生のご紹介



四月から新しく着任された先生方に、お答えいただきました！

- |                        |
|------------------------|
| ① お名前                  |
| ② 教科                   |
| ③ 本について(好きな本やおすすめの本など) |
| ④ 趣味                   |
| ⑤ 座右の銘・好きな言葉           |
| ⑥ 生徒にひとこと<br>(順不同・敬称略) |

① 平岡 真由美

② 国語

③ 『夏の庭』(湯本香樹実)

中学一年生の読書感想文の課題のために読みましたが、ラストに進むにつれ、涙があふれたのを覚えています。読書が少し苦手な人にもおすすめです。

④ 楽器演奏・音楽鑑賞

⑤ 日進月歩

⑥ これからよろしく願います。

① 松尾 穂乃香

② 国語

③ おすすめの本は、川村元気さんの『世界から猫が消えたなら』です。ストーリーもおもしろく、とても読みやすい小説なのでぜひ、読んでみてください。

④ 映画鑑賞、漫画を読むこと

⑤ 人事を尽くして天命を待つ

⑥ 見かけたら声かけてください！おしゃべりしましょう！

① 永松 妙子

② 英語

③ 今読んでいるのは『知的生産術』という本です。現在APU

の学長である出口治明氏が書かれた本で、これからは「自分の頭」で考えられる人の時代と記されています。だからこそ、今、私たちは何をすることが必要かを考えることができる1冊です。

④ スポーツ観戦

⑤ 常に笑顔と向上心

⑥ 「自分のペースで、でも着実に」成長するために体験と努力の時間を共有しましょう！

① 田原 毅

② 英語

③ 『SHOE DOG』(シュートリック)・『マスカレード・ホテル』の2冊がおすすめます。

④ バイク(最近大型免許とりました)・カメラ・旅行・トリーニング・映画・スニーカー集

め・ドライブ・食べ歩き、など

⑤ Work hard, see results.

⑥ iPadで読める朝日新聞デジタルがおすすめますー

① 山田 雄一郎

② 英語

③ 韓国や日本の歴史についての小説をよく読みます。占いや手相、顔相の本なども読みます。

④ 韓国ドラマを見ること

⑤ 一日一歩

⑥ 本屋に行って、いろいろな本を見て、たくさん本を読もう

① 濱道 皓大

② 英語

③ サリンジャー 『The Catcher in the Rye』やジョージ・ウエル 『1984』は学生の頃に友達と解釈を共有し楽しみながら読んだ思い出があり、今でも好きな本です。村上詔があるのでそちらの方が楽しめると思います。

- ④ ホームパーティー。食事処でのパーティー。
  - ⑤ Do as I say, not as I do.
  - ⑥ 痩せる手段が書いてある本を読んだところで痩せませんでした。
  - ① 吉川 麻衣子
  - ② 英語
  - ③ 『思考の整理学』外山滋比古 著
- これは初版から20年以上も経っていますが、情報過多な時代の中で学生生活を送る皆さんに役立つ本です。授業・講義の受け方、レポート・論文の書き方について悩んだ時にぜひ読んでみてください。
- ④ 洋楽鑑賞
  - ⑤ If there is a will, there is a way
  - ⑥ 高校時代に色々なジャンルの本を読んで、進路決定の手がかりになったわ。

- ① 堺 亮二
  - ② 数学
  - ③ 『数学の言葉で世界を見たら』大栗博司
- 「展開とか二次関数とか微分とか・・・、勉強して何の役に立つんだろう?」「こういう疑問に答えの1つを教えてください本です。」展開公式(二項定理)は、銀行預金の利息計算にとっても便利!?「素数がクレンジットカード等を使った取引を安全にしていた!」「授業では教えてくれなかった現実との関わりを知れる、すばらしい本です。
- ④ フォークダンス・コサックダンス
  - ⑤ 「人生に無駄はない。何をやるでも、どんな職業についても」
  - ⑥ 自分の人生、やりたいことをやりましょー!



- ① 廣木 未来
  - ② 理科
  - ③ 本を読むことは、すくく苦手なんです…
  - ④ 手芸・ヨガ・キャンプ・つりなどなど
  - ⑤ Smile brings happiness ♡
  - ⑥ いちも笑び!Go!Fight!!Win!!!
  - ① 西村 智也
  - ② 理科
  - ③ 『99・9%は仮説』竹内薫 著
- 私が中学〜高校の頃に読んで印象深かった本です。10年以上前の本ですが、「科学的である」とはどういうことなのか等が文系にも理系にもわかりやすく書いてあるので、是非一度読んでみてください。
- ④ 音楽、天文学

- ⑤ 順境は友を作り、逆境は友を試す
- ⑥ 教員一年目でまだまだ勉強中ですが、一緒に頑張りましょー。

Please read English books as well!  
I'm sure you will enjoy it!



- ① タラウエラ アイカメイ
- ② SGH
- ③ Bridge to Terabithia (トランジリアかたけはつ)
- ④ Eガ・Sup・食べ物
- ⑤ Happy-go-lucky(のんきもの)

# 緑のカーテン

二年十三組 吉富美奈

暑い夏が近づいてきました。みなさんは普段どのような工夫をして夏をのりきっていますか。

今回私は「緑のカーテン」について調べてみました。「緑のカーテン」とは、室内の温度上昇を防ぐために、建物の壁や窓、窓周辺の地面を直射日光から遮るように、つるを繁茂させたものです。

植物は根から水を吸い上げ、葉から蒸散していきます。植物で日差しを遮るカーテンをつくれれば、夏の暑さの原因である放射熱を退治することができます。

「緑のカーテン」では「ゴーヤ、ニガウリなどが有名ですが、他にも美味しく食べられる植物があります。

一つ目は「オカワカメ」というツルムラサキ科の植物です。葉にはツルムラサキのような独特のくせがありますが、生だとオクラのような粘り、ゆでるとシャキシャ

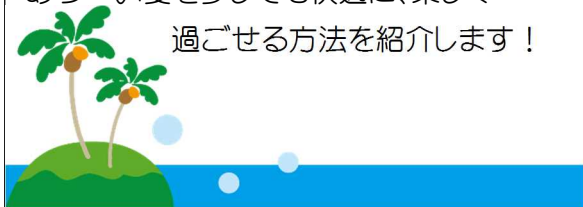
キとしたワカメのような食感があります。

二つ目は「エアポテト」というヤマモ科の植物です。秋になると手のひらサイズのムカゴができます。皮をむいて味噌汁や煮物に入れると新ジャガのような食感があります。油で揚げてチップスにするのもいいです。

【テーマ】

## 夏の過ごし方

あつーい夏を少しでも快適に、楽しく  
過ごす方法をご紹介します！



三つ目は「シカクマメ」というマメ科の植物です。皮をむいてゆでるとほんのり甘い落花生のような味が楽しめます。

「緑のカーテン」は簡単に作れて、美味しく食べることもできます。エゴで、地球温暖化対策にもなります。

興味を持った人はぜひ、今年の夏にチャレンジしてみませんか？

### 【参考図書】

★『自然の力で夏をのりきる暮らし術』農山漁村文化協会

## 夏のスイーツ



三年九組 奥本 有梨沙

夏はとても暑く、さらに時期も長いらうんざりしてしまいますよね。その時は、暑い気分も飛んでいくようなスイーツを食べてみるのはいかがでしょうか？

私がおすすしたいのは「豆腐かん」と「かき氷」です。

まずは豆腐かんから紹介です。この名前を聞いてピンとくる方はなかなかいないと思います。この食べ物は透明な寒天の中に豆腐が入っています。見方によっては豆

腐が宙に浮いているように見えるので、見るだけでとても涼しい気分になれます。また、材料があれば家でも手軽に作れるので、気になる方はぜひ私の参考にした本を読んでみてください。

もう一つはかき氷です。だれもが知っている夏の定番の食べ物ですが、作る人やお店によって特徴が大幅に変わってきます。季節のものがモチーフだったり、たくさんの果物がトッピングされていたり、見た目が完全にケーキのものもあったり…など、様々なのでこの夏の機会にいろいろなお店のかき氷を食べてみるのはいかがでしょうか？

この夏は、見た目も体も冷えるようなスイーツを楽しみながら過ごしてみるのも良いと思います。

### 【参考図書】

★『ひんやり和のおやつ』

金塚晴子・宇佐美桂子

家の光協会

★『一日一氷』 原田泉 ぴあ

★…図書館にある本です。

## 風鈴の心地よさの秘密

二年二組 米澤 真衣

みなさんのお家には、風鈴はありますか？お家になくても、夏に店先などで見かけたり、その音を聞いたりすることも多いのではないのでしょうか。

私は、風鈴の音には暑さを忘れさせてくれるような心地よさがあると 생각합니다。実は、夏の暑さを少しでもしのぐとすると人々の工夫がこの風鈴にはほどこされています。

一般的な風鈴には、ガラスの風鈴があります。目にも涼しく、軽やかな音の特徴です。高温で溶かしたガラスをぶくらませたガラス玉の、口の部分を切り落とした後、刃物で削ります。この時、軽やかな音を出すための職人さんの工夫があります。切り口をなめらかにするのはなく、ギザギザの部分をあえて残すのです。口がギザギザになっていると、中のふり管がこすれて、音がします。触っただ

けで、音が響いてきます。

では、この風鈴の音は、なぜ心地よいのでしょうか。以前、大手鉄銅メーカーの技術者たちが風鈴の音の解明に挑みました。すると、風鈴から周波数の異なる二つの音が検出されました。高さの違う二つの音が重なり合って、私たちの耳に届いていることが分かりました。さらに、その低い方の音を細かく調べてみると、波形が滑らかではなく、ギザギザになっていて、複数の微妙に異なる音が響きあったり、打ち消しあったりしていることが分かりました。このさまざまなおまじな音の重なりが、心地よさの秘密です。このように、風鈴の心地よさには、職人さんの音を響かせる工夫と音の重なりが関係しています。私は心地よい音をつくってくれる職人さんに感謝しながら、風鈴の音を楽しもうと思います。みなさんも、風鈴の心地よさを感じながら夏をすごしてみませんか？



【参考図書】  
『二十六美の壺 風鈴』

二十六美の壺制作班

## そうめん

二年二組 三嶋 小諭莉

夏といえばそうめんですが、みなさんはそうめんの歴史を知っていますか？

実は、そうめんは二二〇〇年という長い歴史をもつ、日本古来より食べられてきた伝統的な食べ物なんです。

そうめんのもととなったのは、中国の「索餅（さくべい）」という唐菓子で、小麦粉と米粉を水で練り、塩を加えて縄状にしたものです。こちらは貴族が食べる高級なお菓子でした。その後、遣唐使により、そうめんの発祥の地である奈良県桜井市に、この「索餅」が伝わったと言われています。江戸時代からは索餅から「そうめん」へと名前も変わり、ブームになったそうです。（諸説あります）

ちなみに、そうめんとひやむぎの違いは、麺の太さによって区別されています。そうめんは直径<sup>1,3</sup>mm未満、ひやむぎは直径<sup>1,3</sup>mm以上<sup>1,7</sup>未満です。ただし、手延べの場合は、<sup>1,7</sup>mmであれば「そうめん」「ひやむぎ」どちらでも名乗ってよいそうです。

そうめんは、つゆや具、ゆで方をかえることで、バリエーション豊かなそうめんを味わえます。アレンジしだいで、お好み焼きやかた焼きそばなども作るすることができます。おすすめの本は「そうめんの本」です。

みなさんも、そうめんでの夏を乗り切りましょう。

【参考図書】

『そうめんの本』市瀬悦子  
柘出版社



## 読書のすすめ

ハイダー・ディル・アンジェス先生（英語科）  
『八十日間世界一周』ジュール・ヴェルヌ

This book report is about book “around the world in 80 days”. It is written by the author Jules Verne. It's a book that is loved by people of all ages. The book is based on a man called Phileas Fogg who bets with the other club members that it is possible to go around the world in 80 days.

Mr. Phileas Fogg is a wealthy man living in London who is part of the Reform Club, an elite social organization. He has recently hired a new domestic servant, a Frenchman named Passepartout. While at the Reform Club, he makes a bet with the other club members that it is possible to go around the world by train and steamer in just eighty days, and that he himself can do it. Since 20,000 pounds are at stake, he fetches Passepartout and they head off right away to circumnavigate the globe.

Waiting for Fogg at the Suez Canal, where he will take a steamer to Bombay, India, is a detective named Fix; apparently, Fogg has been accused of robbing the Bank of England. He follows Fogg and Passepartout on the steamer Mongolia to India, where he hopes to receive a warrant to arrest Fogg as the robber.

The steamer arrives in Bombay two days ahead of schedule, but the arrest warrant has not yet arrived. While waiting for the train that will take them across India from Bombay to Calcutta, Passepartout wanders off into a Hindu temple, hoping to see some of the city's sights before they rush off again. He does not realize that because he is a Christian, he is forbidden to enter; in addition, he enters it with shoes on, which is also not allowed. He narrowly escapes the wrath of the priests and makes it to the train station in time.

On the train, Fogg and Passepartout meet Sir Francis Cromarty, an Englishman who lives in India. Passepartout spends much time gazing out the window at the wild jungles of India. Suddenly, though, the train stops—apparently there is a 50-mile span of track that is not yet finished, and passengers must arrange their own transportation to the next point where they can board a train again.

In a nearby village, Fogg purchases an elephant from an Indian man and hires a Parsee guide to lead them. The group, now including Sir Francis, starts off on the elephant, and after camping for a night they encounter a group of tribal Indians preparing to sacrifice a young woman whose husband, a prince, has just died. Fogg decides they need to use the time they have gained to try and save her, and after a number of failed efforts Passepartout disguises himself as the dead prince's corpse and manages to jump up and

grab Aouda before they can throw her on the funeral pyre.

They make it to Calcutta, but are immediately arrested. At first they think it is because of what happened with Aouda, but actually, Fix has gotten them detained because of Passepartout breaking the law back in Bombay by entering the Hindu temple. Fogg bails them out with a large sum of money and they get on the steamer to Hong Kong. Fix follows them on, knowing that Hong Kong will be the last bit of British territory they step into, and thus the last chance to arrest Fogg.

A storm delays them in reaching Hong Kong, but thankfully the steamer to Yokohama, Japan will not be leaving until the following evening, since it needs time for repairs. Fix decides that it is time to get Passepartout on his side, and takes him to a tavern to tell him whom his master really is. Passepartout is ever loyal, though, and does not believe that Fogg is the robber. Determined to keep Fogg in Hong Kong until he can arrest him, Fix gives Passepartout a dose of opium and he passes out for a long time, thus unable to notify his master of what someone at the port told him: that the steamer would be leaving from Yokohama in the morning instead of the following evening.

The next day, Fogg realizes that Passepartout is missing, and that the steamer has sailed without them. He hires a sailor to take them to Shanghai, where they can catch the steamer that will sail to San Francisco before it makes its stop in Yokohama. Aouda is with him, since it appears the family member she knew in Hong Kong moved away. Fix, posing as a friend, accompanies them. A storm delays them, and they make it to Shanghai just as the steamer is pulling out of the harbor.

Meanwhile, Passepartout managed to get on the steamer to Yokohama, even in his disoriented state. He is distraught when he realizes he left his master behind. In Yokohama, he tries to join a traveling circus troupe in order to make money to buy himself food—while doing this, though, Fogg finds him. They managed to flag down the steamer in Shanghai and get on. The entire group, Fix included, gets on the steamer to San Francisco. Aouda is slowly growing more and more attached to Fogg.

【図書館より開館日時のお知らせ】

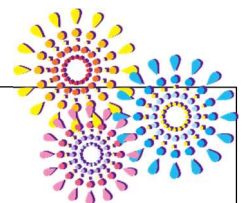
8月7日(水)まで 平日9時～20時、土曜日9時～17時に開館しています。  
特別貸出期間中です！ひとり5冊借りられます！

8月8日(木)～16日(金) 閉館

8月17日(土) 9時～13時

※日曜日は閉館です。

8月19日(月)～ 平日9時～20時、土曜日9時～17時 ※24(土)は閉館です。



**募集中!**

### 図書部部員

毎週火曜日昼休み・図書室にて活動中!

主な活動:ミモピア作成、図書室に掲示やコーナー作り

他校とのビブリオバトル・読書交流会

文化祭ではブックカフェ

などなど

### ミモピア表紙作画サポーター

ミモピアの表紙の絵を描いてくれる人を募集しています!

アナログ・デジタルどちらでもOK

1回だけ…でもOK!

毎回の部活動日に参加できなくてもOK

主な刊行時期(予定) 10月、12月、3月



どちらも気になった方は図書室カウンターまでお気軽にどうぞ!

### ☆ 編集後記 ☆

新年度の第1号をお届けしました。  
発行が遅くなってしまいましたが、新しい出会いと季節の楽しみをお届けしています。

今年度から図書館は新しい体制となり、平日は20時まで開館しています。  
みなさんのたくさんのご利用、お待ちしております。

最後に、お忙しい中原稿にご協力いただいた先生方、ありがとうございました。

